

## 令和元年度 第28回「まちづくり会議」概要 加賀野地区

日 時：令和元年10月27日（日） 14：00～15：30

場 所：加賀野公民館

参加団体等：友賀会、青年会、防犯協会、加賀野地区振興協議会、昼間パトロール会、社会福祉協議会、加賀野地区町会連合会、加賀野子供会、加賀野体育協会、公民館、町会連合会理事など

### 発言【1】

コミュニティセンターへの社会教育を実践する専門職員の配置について

#### 【市】

新しい地域コミュニティ組織に係るコミュニティセンターの設置とその所管並びに社会教育を実践する専門職員の配置につきましては、令和2年度からのモデル地区での取り組みを通して、地区と市で議論を重ね、引き続き慎重に協議してまいります。仮に公民館がコミュニティセンターに移行する場合は、必要な部署が整理された際に、その部署が担う役割に沿った職員の配置を検討したいと考えています。

### 発言【2】

新しい地域コミュニティ組織の設立について（公民館とコミュニティ組織の関係、一括交付金、人材育成について支援ならびに指導体制）

#### 【市】

令和2年度から令和3年度をモデル期間とし、新しい地域コミュニティ組織設立とその活動を支援する財政支援を考えています。

令和4年度からの本格実施における新しい地域コミュニティ組織と一括交付金のあり方につきましては、令和2年度からのモデル地区での取り組みを通して、地区と市で議論を重ね、より良い方向性を十分に精査し検討してまいります。

また、「まちづくり塾」や各種講演会等を開催して、「市民協働で創るまちづくり」の理解を深め、「新しい地域コミュニティ組織」に参画していただけるように人材育成に取り組んでまいります。

### 発言【3】

区長会と新しい地域コミュニティ組織の整合性について

#### 【市】

地区区長会は、地域における中心的な組織であり、地域づくりを行ううえで重要な役割を担うことから、地区区長会と地域コミュニティ組織はそれぞれの役割を生かしながら、連携して地域づくりを行うことが望まれます。

新しい地域コミュニティ組織は、子供から高齢者、男女を問わない住民や各種団体などの地区内の多様な主体に加え、地区外の市民活動団体や大学、企業などが参画できるような組織であることが望まれます。

#### 発言【4】

市民協働で創るまちづくりについて（資料、具体的な内容）

##### 【市】

令和2年度からモデル地区において地域住民が主体的に組織の設立準備や試行的な運営・活動に取り組む予定であり、1月にモデル地区での取り組みに係る説明会を行いました。

また、市民を対象にした「まちかど市民講座」において、地域と行政が共にまちづくりに取り組む「市民協働で創るまちづくり」の概要を説明していますので、お気軽にお申し込みいただきたいと思います。

#### 発言【5】

道路の工事・舗装の優先度について

##### 【市】

道路の破損箇所につきましては、職員による道路パトロールで把握できないものについて、市民の皆様からの連絡や町内会からの要望により情報の提供をいただいています。

また、上水道化および水道管布設替につきましては、水道事業の計画に基づき行っており、舗装復旧においても道路管理者と協議のうえ施行しています。仮舗装から本舗装までの期間は陥没等で市民の皆様にご不便をおかけしないよう注意してまいります。

なお、加賀野地区におきましては、歩道のバリアフリー化を令和2～3年度に予定しており、この区間につきましては、水道事業と連携を取りながら舗装工事を行います。舗装の優先度につきましては、危険な箇所や通学路、交通量の多い箇所を優先的に行っていますが、件数が多いため一度にはできません。今後も順次作業を進めてまいりたいと考えています。

## 発言【6】

北陸新幹線の工期について

### 【市】

令和5年3月の金沢―敦賀間開業に向けて工事は進捗しており、鉄道建設・運輸施設整備機構からは、工事遅れ等についての連絡はありません。

鉄道建設・運輸施設整備機構に対しましては、工事が順調に進むよう市も協力してまいります。

## 発言【7】

昼間の防犯パトロールについて（先進的な活動の紹介）

### 【市】

白山市内では、加賀野地区が最も刑法犯認知件数が少なく、日頃の皆様の活動の成果と認識しており、市といたしましても地区の皆様には深く感謝しています。

毎年、先進事例などを学ぶ防犯ボランティアリーダー養成講座が県主催で開催していますので、是非、ご参加いただきたいと思えます。

現在、市内のいずれの地域でも防犯協会、交通安全協会、見守り隊の担い手の確保が課題となっており、今後は、市民協働で創るまちづくりを進めていく中で、地域の皆様方が連携・協力し、地域の安全活動を行っていくことが大切であると考えています。

## 発言【8】

JR駅の近くなど交通利便性の良い場所での市の窓口設置について（自動車免許証返納後の生活に備えて）

### 【市】

市の窓口の設置につきましては、できるだけ市民の皆様が利用しやすく、かつ、効率的に行政が機能するよう配置することに努めています。

今後もこの考え方に基づいて、適正な配置に努めてまいりますので、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

また、めぐーの運行につきましては、現状のルートやダイヤを基本としながら利用状況に応じた見直しを行っています。今後も春と秋に無料乗車期間を設け、利用促進を図りながら、75歳以上を無料にしたことによる利用者数増加の状況も考慮し、対象年齢の拡大についても検討してまいります。

なお、自動車免許証返納後の移動手段につきましては、市では「市民協働で創る

まちづくり」の中で地域課題について協議する「新しい地域コミュニティ組織」の創設を進めています。免許証を返納された高齢者の交通手段について地域で話し合い、福祉施設の車の送迎時間以外の空き時間を活用する方法など、公共交通空白地の運送事業を実施することについても「市民協働で創るまちづくり」で取り組むことができる課題の一つとして考えています。

#### 発言【9】

まちづくりについての横の情報共有・円滑なコミュニケーション及び公民館職員の役割について

##### 【市】

人口減少、少子・高齢化、ライフスタイルの多様化が進む中、将来に渡っても、住み続けたい地域であるために、地域づくりの担い手となる地域コミュニティを新しく形成することが必要であると考えています。

令和2年度からのモデル地区での取り組みを通して、組織体制や公民館職員の役割などについて地区と十分に協議を重ねてまいります。

#### 発言【10】

消雪装置の整備や除雪体制について

##### 【市】

地下水を使用した新規の消雪装置の設置は、地下環境の保全のため、現在は行っていませんが、川水等を利用した水源による消雪装置の試験的な実施に取り組んでいます。川水等により消雪機能が十分に発揮できるような結果が得られれば、今後、川水等を利用した消雪設備事業を進めてまいりたいと考えています。

除雪につきましては、平成31年度より、地域の方々にご協力いただけるよう、小型除雪機の購入補助の拡大を図りました。また、効率的に除雪作業を行えるよう、路線に優先順位を付けて除雪を行っています。しかしながら、大雪時には、最初に除雪行う第1次路線終了後、第2次路線に移動する前に雪が降り積もることがあり、再度第1次路線の除雪を行わなければならないこともあります。また、幹線の道路であっても、通勤通学の時間帯に間に合わない場合も想定されます。雪の降り方により、様々に状況が変化してまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

地域によっては、今後、ますます高齢化が進み除雪作業が難しくなる場合があるかもしれませんが、地域全体でお互いに助け合いながら除雪を行うなど、ご理解と

ご協力をいただきますようお願いいたします。